

## 1. 単元の目標

- (1) 論理的な話し方のモデルとして3段論法を知ることができる。
- (2) 3段論法を用いて自分の意見をまとめ、ディスカッションで使う表現を知る。・・・本時
- (3) 友達の意見を聞き理解し、自分の意見を論理的に表現することによって意見交換ができる。

## 単元の指導に当たっての考え方

本単元は、教科書最後のProjectとして位置し、4技能を統合させ中学校の英語学習として到達する最終ステージであると考え。すなわち、新学習指導要領の第一目標である「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成」に到達しうる最後の題材であると捉え得る。

本校では一年次に多量のinput、intakeを行い、二年次では少しずつout putに重点を移して指導に当たっている。特に会話の継続のために「英語らしいコミュニケーションの形」として「情報提供型の話し方」を紹介し、帯活動で行っているQ&Aやラインゲームなどでも相手からの質問にYes、Noなどだけで会話をcloseせず、自ら新たな情報発信を行うことで会話をつなげることを目標に練習している。

本単元を行うにあたって、もうひとつの「英語らしいコミュニケーションの形」として「3段論法（前提→事実→結論）の形を用いた論理的な話し方」（「確実に意志が伝わる英会話」高島康司 明日香出版社）を練習したい。これは授業者自らが英語学習において日本語を英訳するだけでは英語を母国語とするネイティブスピーカーとのコミュニケーションがしっくりせず悩んでいたときに出会った言語技術の一つであるのだが、自分の考えと客観的な事実を共に伝えることにより、意見（結論）により説得力を加えることができ、かつ、結論を導く過程を順を追って言語化することにより異なる文化習慣を背景とした人ともコミュニケーションギャップが生まれにくくなる手法である。英語学習において初級者である中学生には難しい概念かも知れないが、英語を学び始めの初級者だからこそ「英語と日本語ではコミュニケーションの形が違うので直訳するだけでは意図が伝わりにくい。」ということを知って欲しいと思い、本単元はそれを紹介し練習する最適の単元であると考えた。

日本ではこのような言語技術はあまり取り入れられておらず慣れていない。そこで、まずは「3段論法」の技法を紹介したのちに、帯活動で身近なテーマについて意見を組み立てる練習を通してその論法に慣れさせたい。意見を組み立てる際には、ペアで助け合いながら伝えたり論理を確認し合ったりする活動を取り入れ、対話的な学びができるようにしたい。グループでの意見交換を経て、クラスでのDiscussionにつなげていきたい。その際には、Discussionに使える表現を紹介し、適切な場面で使用できるようにしたい。

次に、本単元で扱うDiscussionの定義であるが、「議論」まで求めている。中学3年生の英語力は彼らの内面の成熟度には遠く及ばず、伝えたいことを表明し合い深いところで話し合うまでには言語力が到達していない。やや予定調和的なロールプレイになってしまうことも予想されるが、友達の意見を聞きとって理解し、場の流れにふさわしい表現を使いながら自分の意見を論理的に表明し合うことをもって本単元におけるDiscussionと位置づけたい。また、この単元の後も帯活動として「3段論法」を使った意見交換を続け、徐々にimpromptuで発言できるように導いていきたい。またDebateの技術を学び、卒業前にはDebateを行いた

いと考えているため、それにつながる単元としても位置付けたい。

## 2. 生徒の実態

## 3. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心意欲態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語文化の知識理解
ペアやグループで、積極的に意見を伝え合おうとする。	ペア、グループ、クラスで、自分の意見を論理的に発表することができる。	健たちや、友達の意見を聞き、理解することができる。	①論理的な話し方のモデルとして3段論法を知る。 ②ディスカッションを行うときに使う表現を知る。

## 4. 単元の指導と評価の計画（全3時間＋数回の帯活動）

時間	学習内容と活動	指導や支援の手立て	Can do との対応	評価規準	評価方法
1.	○論理的な話し方である「3段論法」を知る。	・オリジナル教材を使用し、チャートに沿って意見をのべることができるように導く。 ◇「3段論法」の形を知り、使ってみよう。		エの①	観察 後日ペーパーテスト
2. 本時	○健たちの意見を参考に、自分の意見を論理的に伝え合う。	・デジタル教科書の活用。 ・pre-listening活動の充実。 ◇健たちの意見を聞いて理解できる。 ・「3段論法」のチャートを利用して意見をまとめ、ペアで意見を表明し合う。 ・ディスカッションで使う表現を知り、グループでの意見交換を行う。 ◇ペアやグループで自分の意見を論理的に伝えることができる。	聞くこと  話すこと (やりとり)	ウ  エの②  ア	後日ペーパーテスト  後日ペーパーテスト  観察
3.	○Class Discussionを行う。	・ディスカッションに使える語句を確認する。 ・クラスでの意見交換がしやすい机の配置を工夫する。(コの字型) ◇友達の意見を聞き、話の流れの中でふさわしい表現を使いながら自分の意見を表明できる。	話すこと (発表)	エの②  ウ	後日ペーパーテスト  観察及び VTR分析

○自分の意見を小エッセイにまとめる。	◇自分の意見をある程度まとめた英文で書くことができる。	書くこと	エ	ワークシート 後日ペーパーテスト
--------------------	-----------------------------	------	---	---------------------

〈第一時のテーマ及び帯活動で扱うテーマ例〉

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Do you like summer ? / Which is your favorite season? (第一時)</li> <li>・ What is your favorite subject?</li> <li>・ Which do you like better, school lunch or bento?</li> <li>・ Which do you like better for breakfast, breads or rice?</li> <li>・ Do you think reading newspaper is necessary?</li> <li>・ When you get married, which is more important for you, love or money?</li> <li>・ Do you think school uniform is necessary?</li> <li>・ Do you think entrance exam is necessary?</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・ 3 段論法を用いて自分の意見をまとめよう。
- ・ ディスカッションで使う表現を知り、使ってみよう。

### (2) 本時の展開

学習過程	学習活動	指導上の留意点	評価
Greeting (2)	○あいさつをする。	・ 代表生徒のあいさつに元気よく答える。	
Warming up (8)	○英語の歌を歌い、授業の雰囲気を作る。 ○Question and swapを行う。  (○ラインゲームを行う。)	・ 英語の歌に親しみながら楽しんで歌えるように留意する。 ・ 質問しあい、情報提供型（3 文以上）で答えるよう促す。QAが終わったらシートをチェンジし、新しいペアを見つける。 (・ 時間を見て余裕があればラインゲームを行う。)	
Listening (10)	○デジタル教科書を使ってリスニングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">健たちの意見を聞き取ろう</div>	・ Pre-listening活動として、班ごとに聞こえてきそうな英単語をブレインストーミングさせ、予測をもってリスニング活動に臨ませる。 ・ リスニングが苦手な生徒のために意見の趣旨を選択できるワークシートを用意する。また余裕がある生徒には他に聞き取れた情報をメモするように指示し個に応じたチャレンジができるようにする。	ウ 【後日ペーパーテスト】

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取れた内容をグループでシェアし、二度目のリスニングで確認させる。</li> </ul>	
Prepare for the discussion.	<p>○Discussionのテーマを確認し、自分の意見をまとめる。</p> <p>自分の意見を論理的に伝え合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにメモをしながら自分の考えを論理的にまとめる。</li> <li>・ペアで意見交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを提示した後、ストラテジーを確認する。</li> <li>・「3段論法」のストラテジーに合わせたワークシートを準備する。</li> </ul>	ア・イ 【観察】
(10)	<p>〈3段論法のストラテジー〉</p> <p>結論：I like summer. (結論)  前提：I like hot weather. (自分の考え)  事実：It is hot in summer. (事実)  結論：So, I like summer. (結論)</p> <p>〈ペア活動の流れ〉</p> <p>一回目 〈Aさん〉 ①自分の意見を日本語で述べる  ②その意見を英語で言い換える。  〈Bさん〉 ③フィードバックを行う。  (理論に飛躍があれば伝える。英語に誤りがあれば正す。)</p> <p>二回目 〈Bさん〉 ①自分の意見を英語で伝える。  〈Aさん〉 ②Bさんの意見を日本語で確認する  ③フィードバックを行う。</p>		
(5)	<p>○班でdiscussionを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッションに必要な語句を確認する。</li> <li>・机を班隊形にし、班ごとにDiscussionを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを見ながら口頭練習を行う。</li> <li>・グループごとにchairmanを選出し、意見交換を進めさせる。</li> <li>・できるだけメモを見ないで自分の言葉で表現できるよう促す。</li> <li>・班員の意見を聞いてその場で新たな意見が言えそうな人はチャレンジするよう助言する。</li> </ul>	ア・イ 【観察】
(10)			
Feed back	<p>○本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを回収し、各々の自己評価を確認し、必要があれば次時まで個別にアドバイスを行う。</li> <li>・次回はClass Discussionを行うことを予告</li> </ul>	
(5)			

		し、Discussionに使える表現を確認してくる ように告げる。	
--	--	--------------------------------------	--

(3) 評価

- ・3段論法を用いて自分の意見をまとめることができたか。
- ・ディスカッションで使う表現を知り、使ってみることができたか。

## Which do you think is better, city life or country life?

健たちの意見を参考に自分の意見を論理的にまとめよう。

結論	I think (city life ・ country life) is better.
前提	
事実	
結論再び	So, I think (city life ・ country life) is better.

### ☆Useful expression☆

#### 賛成するとき

I (completely / definitely / somewhat / kind of / partially) agree with ~.

私は (完全に / 間違いなく / ある程度 / 部分的に) ~に賛成です。

I have a same opinion to ~.

~と (同じ/近い) 意見です。

#### 反対するとき

Well, I don't (actually / really) think so.

実際、そうは思わないんですね。

I'm sorry (afraid) but I disagree with ~.

申し訳ないけど (言にくいけど)、~には反対です。

## ☆自己評価☆

Aよくできた Bまあできた Cあまりできなかった Dまったくできなかった

た

3段論法を用いて自分の意見をまとめることができたか。	A ・ B ・ C ・ D
健たちや、級友の意見が理解できたか。	A ・ B ・ C ・ D
Discussionに役立つ表現を使ってみることができたか。	A ・ B ・ C ・ D

### ～アンケート～

1. 英語の学習を通して、最もできるようになりたいことを下から選んでください。

※テストや入試は考えず、現在や将来の生活で考えてください。

- ア 英語で書かれた本がすらすらと読めるようになりたい。
- イ 英語で話されていることを聞き取って、意味が分かるようになりたい。
- ウ 英語で自分の意見や考えを話せるようになりたい。
- エ 英語で作文が書けるようになりたい。

2. あなたは英語で自分の意見を言うことが得意ですか。

- ア とても得意
- イ どちらかといえば得意
- ウ どちらかといえば苦手
- エ とても苦手

3. 英語で意見を言うときに難しいと感じる点はなんですか。

- ア 自分の意見がまとまらない。
- イ 英語でどのようにつたえていいか、単語がわからない。
- ウ 英語でどのように伝えていいか、文の構造がわからない。
- エ 考える時間が短いのが難しい。

4. 技能ごとの理解度を教えてください。

①今まで習った英語で話されていることを聞いたとき、どのくらい理解できますか。

- ア ほとんど理解できる。(80%～100%)
- イ 大体理解できる。(60%～80%)
- ウ 半分くらい理解できる。(40%～60%)
- エ あまり理解できない。(20%～40%)
- オ ほとんど理解できない。(0%～20%)

②習った英語で書かれた教科書1ページ程度の英文を読んだとき、どのくらい理解できますか。

- ア ほとんど理解できる。(80%~100%)
- イ 大体理解できる。(60%~80%)
- ウ 半分くらい理解できる。(40%~60%)
- エ あまり理解できない。(20%~40%)
- オ ほとんど理解できない。(0%~20%)

③今まで習った英語を使って自分の言いたいことを口頭でどのくらい言えますか。

- ア 言いたいことをほとんどの確に言える。(80%~100%)
- イ 言いたいことを大体言うことができる。(60%~80%)
- ウ 言いたいことを半分くらいなら言える。(40%~60%)
- エ 言いたいことをあまり伝えられない。(20%~40%)
- オ 言いたいことがほとんど言えない。(0%~20%)

④今まで習った英語を使って自分の伝えたいことを書いてどのくらい表現できますか。

- ア 言いたいことをほとんど表現できる。(80%~100%)
- イ 言いたいことを大体表現できる。(60%~80%)
- ウ 言いたいことを半分くらい表現できる。(40%~60%)
- エ 言いたいことをあまり表現できない。(20%~40%)
- オ 言いたいことをほとんど表現できない。(0%~20%)

Class

No

Name